

更生保護女性会会長賞

十人十色

堺市立 金岡北中学校 三年

平井 衣咲

自分はどんな人間だと思いますか？

私は小学生の頃、友人関係がうまくいかず悩んでいることが多かったです。当時はネガティブ思考で、それによって自分で自分の首を絞めていることがよくありました。そんな私が、今では生徒会長や部活動の副キャプテンも務めています。きっと小学生の頃の私そのまま成長していたら今の私には到底なれなかっただろうと思っています。なぜ私は小学生の頃のネガティブ思考から成長できたのでしょうか。

それは周りの人たちに助けられたからだと思います。私の最大の味方である家族や先生、友人などが私に親身になって話を聞いてくれていたからです。私は周りの人に全て話して自分の思いがスッキリするまで話を聞いてもらいました。今、思えば感謝しかありません。今の私はネガティブ思考が小学生の頃と比べてかなり減り、友人関係で悩むことが少なくなりました。本当に沢山支えられて来たんだと思います。どれだけ救われてきたか数えきれないほどです。だから私は限界を超えず最悪な事態にならなく

て済みました。

最悪な事態とは犯罪、非行などのことです。きっと犯罪や非行を起こしてしまった人は家族関係や友人関係で限界を超えた人、精神的に疲れてしまいそれが苦しみや怒り、憎しみに変わって…。このようなことが色々な引き金となり、最悪の事態になってしまったのではないかと私は思います。

そうなるのを防ぐためには、一人一人の色や個性をしっかりと理解していくことが大切だと思います。「十人十色」という四字熟語があるように、人にはそれぞれ色があり、個性があります。その色や個性をいかに良い方に繋げていくかが社会を明るくしていく一つの手段ではないかなと考えました。

犯罪や非行を起こしてしまった人にも、もちろん色や個性があります。その人が犯してしまったことをなくすことは出来ないですが、人一倍の努力や反省、理解をすることで新しい出発点を見つけ出すことはできるだろうと思いました。

私がこの「社会を明るくする運動」を初めて耳にしたときは、

「どうということ？」と疑問に思っていました。このことについてよく考えてみると心の成長をし続けることが大切なんだなと改めて思うことができました。ちょっとした疑問や経験で今までの自分より成長することができます。犯罪や非行を完全になくすことはできないと思いますが、一人一人がなくす努力をしていけばきっと社会はより明るくなると思います。

悪いニュースや悲しい出来事が飛び回る社会ではなく、見て幸せになれるニュースや「ありがとう」「だいすき」などの言葉が飛び回る社会になるためにも、私はこれからも考え続けていきたいと思えます。そして何よりも感謝の心を持ち続け笑顔を絶やさずことなく「ありがとう」の言霊を大切にしたいと思えます。

もう一度問います。

あなたはどんな人間ですか？

